

The image features the Chinese characters '光展' (Guang Zhan) in a highly stylized, calligraphic font. The characters are rendered in a vibrant red color with a thick white outline. They are set against a background that is split horizontally into a white upper half and a blue lower half. The character '光' (Guang) on the left is composed of several dynamic, sweeping strokes, while '展' (Zhan) on the right is more complex, with multiple overlapping strokes that give it a sense of movement and depth. The overall composition is bold and modern, suggesting a theme of light, expansion, or progress.

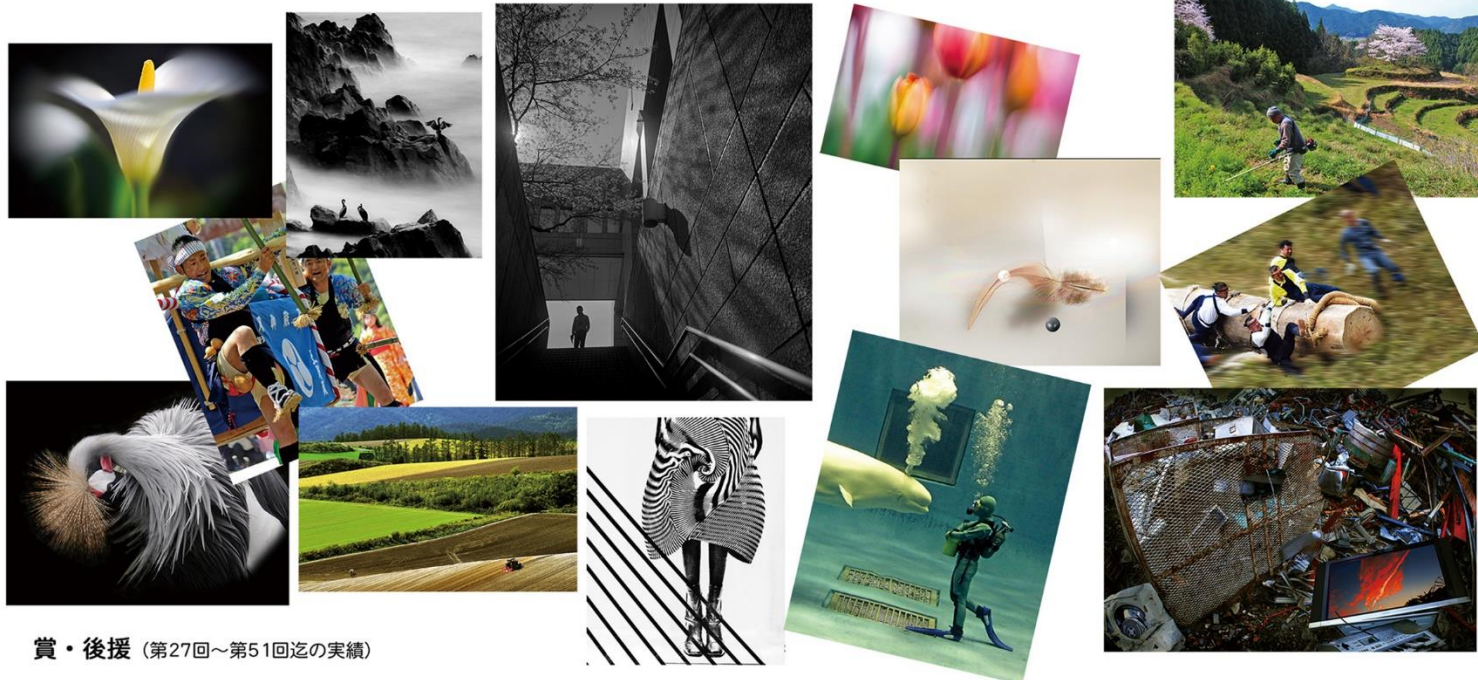
·写真·

作品集

あなたの感性を待ってます！

受付期間 2017年 7月1日～8月25日

・ **入選発表 2017年 9月下旬** ・ **作品展示** 下記会場にて巡回展実施
 大阪市立美術館・徳島アミコシビックセンター・高知県立美術館・スターピアくだまつ・四日市市文化会館・東京都美術館
 ・ **詳しくはwebで!** nihon-kougakai.jp (フォトコンテスト誌6月号・アサヒカメラ8月号にも掲載)



賞・後援 (第27回～第51回迄の実績)

日本現代写真家協会賞
大阪市立美術館館長賞
文部科学大臣賞
光画新人賞
光画奨励賞
高橋正舟賞
光画会長賞
日本光画賞

周南市教育委員会
枚方市教育委員会
守口市教育委員会
神戸市教育委員会
大阪市教育委員会
山口県教育委員会
兵庫県教育委員会
三重県議会
徳島県議会
守口市議会
大阪府議会
周南市
亀山市
四日市市
枚方市
守口市
高知市
徳島市
神戸市
大阪市
山口県
高知県
三重県
徳島県
兵庫県
大阪府
文化庁

日本光画会



第52回「光展」開催施設の紹介

関西展（大阪府） 大阪市立美術館

2017年（平成29年）
12月5日（火）～10日（日）



大阪市立美術館での展示も今回で19回目を迎え「光展」のメイン会場として定着した感があります。

四国展（徳島県） アミコシビックセンター

2018年（平成30年）
1月6日（土）～9日（火）



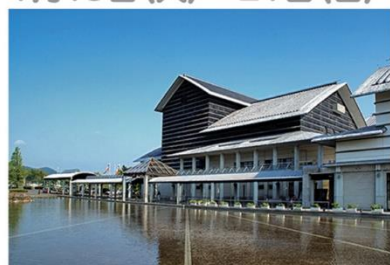
表彰式 天王寺都ホテル

表彰式・懇親会は天王寺都ホテルで開催
毎回多数の出席者で盛大に催されている

表彰式は2017年12月10日
午前11時30分より開催です
厳粛な雰囲気です表彰されます

四国展（高知県） 高知県立美術館（県民ギャラリー）

2018年（平成30年）
1月16日（火）～21日（日）



中国展（山口県） スターピアくだまつ

2018年（平成30年）
2月1日（木）～4日（日）



中部展（三重県） 四日市市文化会館

2018年（平成30年）
2月15日（木）～18日（日）



関東展（東京都） 東京都美術館

2018年（平成30年）
4月10日（火）～15日（日）



[応募要項]

応募資格

- ・日本国内在住者ならどなたでも応募できます。

応募作品

- ・題材は自由です。
- ・カラー/モノクロ、銀塩/デジタル処理 等のプリント
- ・サイズは六切又は四切（台紙使用及びワイド四切は不可）
- ・デジタル作品はA4サイズでも可
- ・単写真及び組写真
- ・組写真の場合は会場の都合で2～3点の展示になります。
- ・応募点数は10点迄とします。

応募方法

- ・別紙応募票に必要事項を記入し、作品の裏面に貼付して下さい。（作品表面に影響の無いよう注意して下さい）
- ・出品目録は全ての出品作品名及び必要事項を楷書で記入し、応募作品に同封して下さい。
- ・応募作品は折れたりキズが入ったりしないように厚紙等で保護の上送付して下さい。

応募受付

- ・2017年7月1日～8月25日迄です。 8月25日消印有効

審査料

- ・1点(枚) ¥1,000.- 組写真も1枚づつ必要です。
- ・出品枚数 × ¥1,000.-を郵便振替で指定の口座に振り込んで下さい。
- ・振り込みの無い場合は審査対象外になります。

審査発表

- ・9月下旬、応募者に直接通知致します。
- ・入選・入賞者は、原稿の提出が必要です。(写真展終了後返却)
- ・デジタル作品はUSB、SD又はCD等の記録メディアに保存したものがが必要です。(jpg 又はtifにて保存してください)
- ・審査結果のお問い合わせにはお答えできません。

審査用作品の返却

- ・選外作品で返却希望の場合は、応募票の返却希望にシを必ず入れて下さい、その上で宛先を書いた返送用封筒に必要額の切手を貼付した作品のみ返却致します。

※ 返送用封筒及び切手の無い作品は返却が出来かねますのでご了承願います。

- ・入選作品は、全ての巡回展の終了後(翌年の3月末頃)に、データ及び展示作品と一緒に返却致します。

入選・入賞作品の原稿提出について

- ・応募された作品は、全ての内容(タイトル、図柄、組写真の番号等)を控えておいて下さい、入選・入賞の通知後にお問い合わせいただいてもお答えできませんのでご注意下さい。
- ・送付いただく入選・入賞作品のフィルム及びデータは間違い防止のため入選・入賞作品のみをお送りください。

展示場所 (日時は表紙参照)

- ・関西展 (大阪) 大阪市立美術館
- ・四国展 (徳島) アミコシビックセンター (高知) 高知県立美術館
- ・中国展 (山口) スターピアくだまつ
- ・中部展 (三重) 四日市市文化会館
- ・関東展 (東京) 東京都美術館

展示方法

- ・入選・入賞作品を規定の全紙サイズにプリントの上、板パネル張りに仕上げて展示します。
- ・関西展・関東展は当会特製の額に入れて展示します。

出展費用

- ・作品1点につき ¥18,000.- 2点目から ¥6,000.- (2枚組の場合 ¥18,000+¥6,000で ¥24,000.-) (3枚組の場合 ¥18,000+¥6,000x2で ¥30,000.-)

プリント費、パネル加工費、会場費、会場間輸送費、作品返却費含む

- ・入選・入賞作品は、当会規定の全紙サイズにプリントします。
- ・規定サイズに合わせるために若干のトリミングをする場合がありますので、ご了承願います。
- ・出展費用は、入選・入賞通知があり次第、期限迄に下記口座に振り込んで下さい。
- ・振り込みの無い場合は入選・入賞取消しになります。

振込先 (郵便振替)

- ・口座名称 光画会
- ・口座番号 00960-6-174144

表彰式・懇親会

- ・場 所 大阪、天王寺 都ホテル 大宴会場
- ・表彰式 参加費は無料です。

入選の方から順次お一人づつ賞状をお渡し致します。
又、表彰式に参加いただく入選者及び入賞者の方にのみ第52回展図録を進呈致します。

- ・懇親会 参加費¥7,000- 表彰式終了後立食式で招待作家、顧問の各先生方及び会員、会友が参加して写真談義を楽しんでいただきます。(一般入選、入賞者の方約80名と会員、会友を含め、約120名が参加予定です、又抽選会等の楽しみも用意しています)

図 録

- ・美術館で展示された入選・入賞作品が掲載された図録を発刊しますので、是非ご購入下さい。

第52回「光展」図録 1冊¥1,500,- (送料別)

- ・図録のバックナンバーも用意していますので、ご希望の方は事務局迄お申し込み下さい。
第45回から49回迄各回送料込みで1冊¥1,000-

作品送付先 (封筒の宛名に切り取って利用して下さい)

〒538-0032

大阪市鶴見区安田4-4-14

日本光画会
光展事務局

☎(06)4304-4355

注意事項

- ・人物写真の場合、必ず本人の承諾を得て下さい。
- ・肖像権、著作権等で問題が生じても当会は一切責任を負いませんのでご了承願います。
- ・オリジナルの未発表作品で応募して下さい。
- ・入賞作品の著作権は作者に帰属しますが広報、宣伝等で、当会が使用する事があります。
- ・応募作品は慎重に取り扱い致しますが、不測の事故に対しては責任を負いかねますのでご了承願います。
- ・振込まれた審査料及び展示費用の返金は致しません。

「光展」概要

全国公募の写真展で、ジャンルに制限はありません。
本展は大阪市立美術館にて展示、その後各地にて巡回展示。
巡回展は徳島、高知、山口、三重、東京で開催している。
表彰式及び懇親会は毎年都ホテル大阪にて開催。
後援及び賞は官公庁承認の各賞と日本光画会の各賞を授与。

本会創立の趣旨

日本光画会は公益社団法人日本写真協会の賛助会員で非営利の写真団体であります。

日本写真界の現状については常に世界的な関心が高まっておりますが、時流の先端を進む写真作家はとかく中央に集中しがちであり、地方の優れた文化、伝承、風俗などを記録し続ける人達は、その作品を発表する機会が少なく、また写真に関わる芸術的理論や研究の場も地方に於いてはまだまだ充分とは申せません。それに伴う写真技術の方も専門の指導者が無いままに主にカメラ雑誌等の出版物に頼るあまり単なるものまねになってしまい、没個性の作品となりつつある傾向にあります。

本会は以上の点に留意し地方の写真作家の発掘と写真技術の向上を図ろうという趣旨のもとに活動している写真団体です。

日本光画会について

写真家の故高橋正舟先生が関西の有力プロ・アマ写真家の要請を受け、昭和40年に高知、和歌山、三重、岡山県等のプロ写真家及びアマチュア写真家を結集して発足、翌昭和41年に「第1回光画会写真展」を阪急さくらギャラリーにて開催した。（その後、順次支部の創設を行い各地で「光展」巡回展を実施）

平成4年文部大臣奨励賞 拝受。

平成9年大阪市立美術館に於いて関西本展を開催。

平成17年文部科学大臣奨励賞に代わり文部科学大臣賞拝受。

平成27年ヒルトン東京(ヒルトピア)にて東京展開催

展示作品集

毎年「光展」開催に併せて展示作品の図録発刊。

バックナンバーとして第45回展～第49回展の図録を販売いたします。(応募時の参考にして下さい)

各回1冊送料込み¥1,000-

ご希望の方は事務局迄お申し込み下さい。

「光展」応募方法

裏面の応募要項をご覧になって、別紙応募票に必要事項を記入し、作品の裏面に貼付してください。

出品目録は、氏名・住所・電話番号等と全ての応募作品名を記入した上、同封下さい。